第148回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 商品の仕入

商品の仕入代金の支払いについて他店振出の約束手形を裏書譲渡した場合には、当該約束手形の受け取り時に受取手形勘定で処理しているため、受取手形を減少させる。また、残額については小切手を振り出して支払っているため、当座預金の減少として処理する。

(借) 仕入	130,000	(貸) 受取手形	100,000
		(〃) 当座預金	30,000

※ 当座預金：¥130,000（仕入金額）－¥100,000（手形の裏書譲渡額）＝¥30,000

2. 掛代金の受取りと支払い

同一の商店に対して債権と債務が存在しており、本間では差額を小切手を振り出して支払っているため、債権と債務の総額を相殺し、差額は当座預金の減少として処理する。

(借) 買掛金	500,000	(貸) 売掛金	100,000
		(〃) 当座預金	400,000

※ 当座預金：¥500,000（買掛金）－¥100,000（売掛金）＝¥400,000

3. 有価証券の購入

国債を購入した場合には、有価証券として処理する。

(借) 有価証券	490,000	(貸) 現金	490,000
----------	---------	--------	---------

※ 有価証券：¥500,000（額面総額）×¥98（購入金額）/¥100（額面金額）＝¥490,000

4. 整地作業料の支払い

整地を行うことにより、土地の価値が増加するため、整地に係る諸費用は土地として処理する。

(借) 土地	150,000	(貸) 現金	150,000
--------	---------	--------	---------

5. 借入金の返済

借入金の返済と同時に利息の支払いも行っているため、利息について日割計算により利息の金額を計算する。

(借) 借入金	730,000	(貸) 当座預金	734,000
(〃) 支払利息	4,000		

※ 支払利息：¥730,000（借入金額）×2%×100日（借入期間）/365日＝¥4,000

※ 当座預金：¥730,000（借入金額）＋¥4,000（利息）＝¥734,000

第2問 資本金勘定と引出金勘定の推定

引出金勘定を資本金勘定の評価勘定として用いている場合には、期中においては引出金勘定で処理し、決算において資本金勘定へ振り替える。本問での仕訳は下記のようになり、勘定記入の法則により勘定を推定することで解答を導き出せる。

《仕訳》

3月15日

(借) 引出金	300,000	(貸) 普通預金	300,000
---------	---------	----------	---------

6月30日

(借) 引出金	2,000	(貸) 仮払金	4,500
(〃) 旅費交通費	2,500		

※ 旅費交通費：¥4,500（支払額）－¥2,000（私用による使用額）＝¥2,500

10月20日

(借) 引出金	80,000	(貸) 仕入	80,000
---------	--------	--------	--------

12月31日

(借) 資本金	382,000	(貸) 引出金	382,000
---------	---------	---------	---------

※ ¥300,000（所得税の支払額）＋¥2,000（旅費交通費の支払額）

＋¥80,000（自家消費）＝¥382,000

(借) 損益	850,000	(貸) 資本金	850,000
--------	---------	---------	---------

《勘定記入》 解答箇所をゴシックとしている。

資 本 金		資 本 金	
12/31 引出金	382,000	1/1 前期繰越	2,500,000
〃 次期繰越	2,968,000	12/31 損益	850,000
	3,350,000		3,350,000

引 出 金		引 出 金	
3/15 普通預金	300,000	12/31 資本金	382,000
6/30 仮払金	2,000		
10/20 仕入	80,000		
	382,000		382,000

第3問 残高試算表

平成29年12月中の仕訳を示す。

1日	(借) 貸倒引当金	500	(貸) 売掛金	10,000
	(〃) 貸倒損失	9,500		
4日	(借) 仕入	110,000	(貸) 前払金	15,000
			(〃) 買掛金	95,000
7日	(借) 所得税預り金	6,000	(貸) 現金	6,000
8日	(借) 受取手形	100,000	(貸) 売上	270,000
	(〃) 前受金	8,000		
	(〃) 売掛金	162,000		
	(借) 発送費	2,000	(貸) 現金	2,000
11日	(借) 水道光熱費	7,000	(貸) 当座預金	7,000
13日	(借) 現金	30,000	(貸) 前受金	30,000
15日	(借) 当座預金	170,000	(貸) 受取手形	170,000
18日	(借) 支払家賃	15,000	(貸) 当座預金	15,000
19日	(借) 買掛金	190,000	(貸) 支払手形	190,000
21日	(借) 給料	100,000	(貸) 所得税預り金	7,000
			(〃) 当座預金	93,000
22日	(借) 支払手形	200,000	(貸) 当座預金	200,000
25日	(借) 現金	175,000	(貸) 売掛金	175,000
27日	(借) 備品	300,000	(貸) 未払金	300,000
29日	(借) 仕入	92,000	(貸) 買掛金	90,000
			(〃) 現金	2,000

第4問 伝票会計

伝票とは、日々の取引を記録する紙片であり、仕訳帳の代わりに用いられる。

仕訳日計表とは、1日分の伝票を集計する合計試算表の1種である。伝票の各勘定の金額を仕訳日計表に集計し、仕訳日計表から総勘定元帳に合計転記を行うことにより、転記の効率化を図ることができる。

(1) 仕訳日計表の作成

① 入金伝票

入金伝票とは、借方に現金が生じる場合に用いられる伝票のことをいう。そのため、伝票に記入される勘定科目は、貸方科目を意味する。

101	(借) 現 金	10,000	(貸) 売 上	10,000
102	(借) 現 金	12,000	(貸) 受 取 手 数 料	12,000

② 出金伝票

出金伝票とは、貸方に現金が生じる場合に用いられる伝票のことをいう。そのため、伝票に記入される勘定科目は、借方科目を意味する。

201	(借) 仕 入	5,000	(貸) 現 金	5,000
202	(借) 仕 入	8,000	(貸) 現 金	8,000

③ 振替伝票

振替伝票とは、入金伝票および出金伝票に記載されない取引を記載する伝票である。

301	(借) 売 掛 金	90,000	(貸) 売 上	90,000
302	(借) 仕 入	55,000	(貸) 買 掛 金	55,000

(2) 出金伝票No.202および振替伝票No.302で記録された取引において仕入れた商品の金額
 $¥8,000$ (No.202) + $¥55,000$ (No.302) = $¥63,000$

第5問 財務諸表の作成

決算整理仕訳は以下のとおりである。

1. 旅費交通費の計上

従業員が立替払いしている旅費交通費は、当期の費用であるため旅費交通費として費用計上し、問題文の指示より未払金として処理する。

(借) 旅 費 交 通 費	3,000	(貸) 未 払 金	3,000
---------------	-------	-----------	-------

◆ 旅費交通費： $¥30,000$ (T/B旅費交通費) + $¥3,000$ = $¥33,000$

2. 車両運搬具の売却

車両運搬具の売却は、売却時の簿価(取得原価-減価償却累計額)と売却金額との差額を固定資産売却損又は益として処理する。なお、12月に売却しているため、当期の減価償却費の計上を忘れないように注意する。

(借) 仮 受 金	180,000	(貸) 車 両 運 搬 具	480,000
(〃) 車両運搬具減価償却累計額	80,000		
(〃) 減 価 償 却 費	80,000		
(〃) 固定資産売却損	140,000		

※ 減価償却費： $¥480,000$ (T/B車両運搬具) $\div$ 6年(耐用年数) = $¥80,000$

※ 固定資産売却損： $¥480,000$ (T/B車両運搬具) - $¥80,000$ (T/B車両運搬具減価償却累計額) - $¥80,000$ (減価償却費) - $¥180,000$ (売却金額) = $¥140,000$

3. 売上原価の算定

売上原価は、期首商品棚卸高に当期商品仕入高を加算し、期末商品棚卸高を差し引くことにより算出される。計算の便宜上売上原価勘定で売上原価の算定を行う。

(借) 売 上 原 価	300,000	(貸) 繰 越 商 品	300,000
(借) 売 上 原 価	3,955,000	(貸) 仕 入	3,955,000
(借) 繰 越 商 品	315,000	(貸) 売 上 原 価	315,000

◆ 売上原価： $¥300,000$ (T/B繰越商品) + $¥3,955,000$ (T/B仕入)

- $¥315,000$ (期末商品棚卸高) = $¥3,940,000$

4. 減価償却

(借) 減 価 償 却 費	20,000	(貸) 建物減価償却累計額	20,000
---------------	--------	---------------	--------

※ 建物減価償却累計額： $¥1,000,000$ (T/B建物) $\div$ 50年(耐用年数) = $¥20,000$

◆ 建物減価償却累計額： $¥200,000$ (T/B建物減価償却累計額) + $¥20,000$ = $¥220,000$

◆ 減価償却費： $¥20,000$ + $¥80,000$ (上記2.) = $¥100,000$

5. 貸倒引当金の設定

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	2,400	(貸) 貸 倒 引 当 金	2,400
-------------------	-------	---------------	-------

※ 貸倒引当金繰入： $\{¥410,000$ (T/B受取手形) + $¥350,000$ (T/B売掛金)

$\times 1\%$ - $¥5,200$ (T/B貸倒引当金) = $¥2,400$

◆ 貸倒引当金： $¥5,200$ (T/B貸倒引当金) + $¥2,400$ = $¥7,600$

6. 水道光熱費の見越し

(借) 水 道 光 熱 費	7,000	(貸) 未 払 水 道 光 熱 費	7,000
---------------	-------	-------------------	-------

◆ 水道光熱費： $¥75,000$ (T/B水道光熱費) + $¥7,000$ = $¥82,000$

※ 未払水道光熱費は貸借対照表上、未払費用で表示する。

7. 利息の繰り延べ

(借) 前 払 支 払 利 息	2,000	(貸) 支 払 利 息	2,000
-----------------	-------	-------------	-------

◆ 支払利息： $¥10,000$ (T/B支払利息) - $¥2,000$ = $¥8,000$

※ 前払支払利息は貸借対照表上、前払費用で表示する。

8. 受取地代の繰り延べ

(借) 受 取 地 代	40,000	(貸) 前 受 受 取 地 代	40,000
-------------	--------	-----------------	--------

※ $¥520,000$ (T/B受取地代) $\div$ 13か月 = $¥40,000$

◆ $¥520,000$ (T/B受取地代) - $¥40,000$ = $¥480,000$

※ 前受受取地代は貸借対照表上、前受収益で表示する。